

# がわしま



## 議会だより

3月定例会

No.100

平成25年5月24日

3月定例会審議結果

委員会の動き

一般質問 町の考えを問う

100号特集ページ



ちびっこフェスティバル（船乗り体験）





# 議長、副議長決まる！

## 各委員会の構成が替わ

(◎…委員長、○…副委員長)

### 文教厚生常任委員会

(定数7人)

教育、福祉、衛生、町民に関することを担当し、議案・陳情等を審査します。



<後列左から>

道祖土証 小高春雄 土屋祥吉

<前列左から>

尾崎宗良 ◎佐藤芳男 ○新井悦子 菊地敏昭

### 総務経済建設常任委員会

(定数7人)

経済、政策、財政、税務、会計、農政商工、建設、都市整備、開発、上下水道に関することを担当し、議案・陳情等を審査します。



<後列左から>

飯野徹也 石川征郎 栗岩輝治

<前列左から>

吉田豊子 ◎森田敏男 ○爲水順二 山田敏夫



議会編集委員会は、新たな体制となり、親しまれる議会便りの作成に委員一同頑張ります。

### 議会報編集委員会

### 監査委員

小高春雄

### 議会推薦農業委員

吉田豊子

### 比企広域市町村圏組合議会議員

菊地敏昭

飯野徹也

### 川越地区消防組合議会議員

山田敏夫

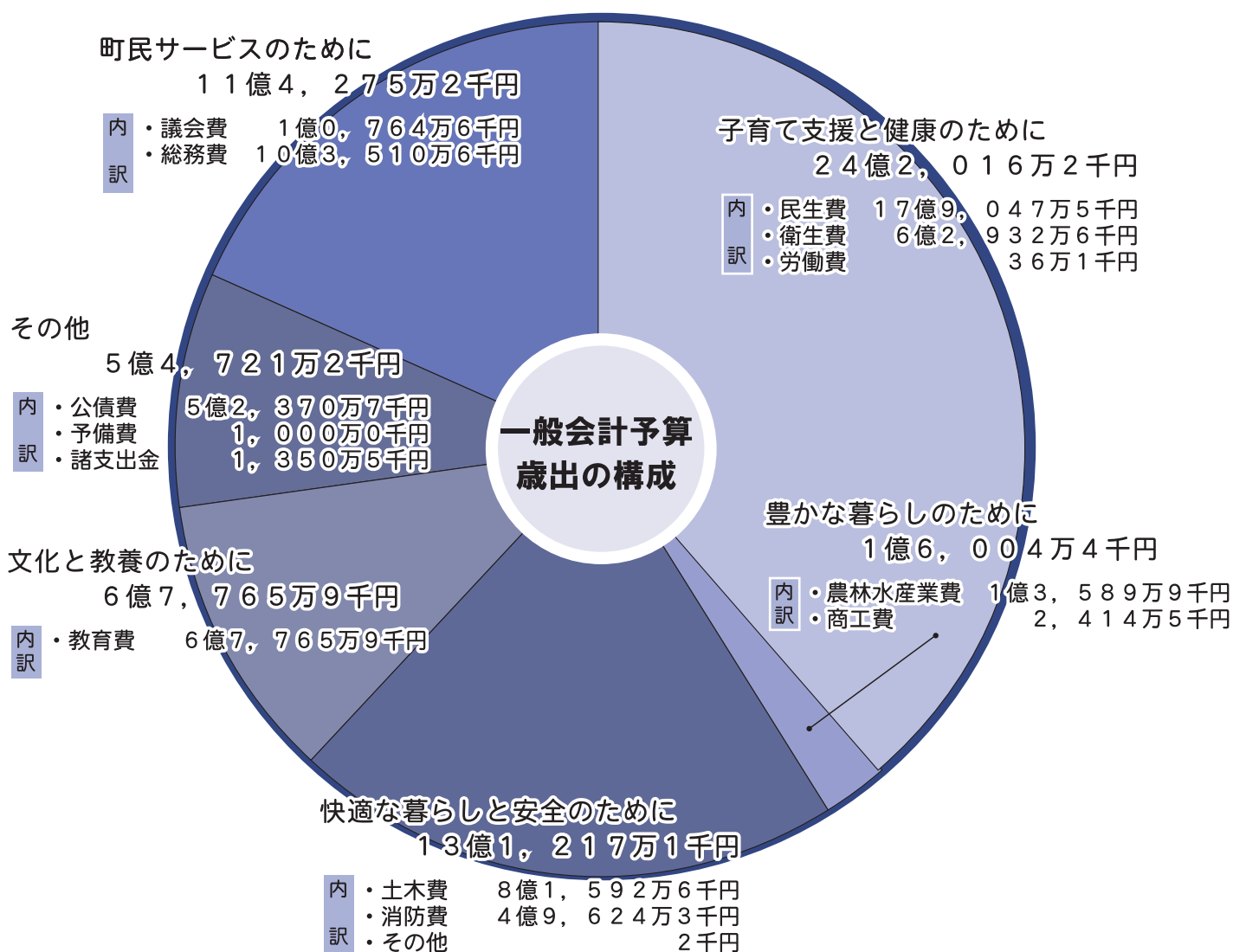
道祖土証

爲水順二

# 安心して暮らせる住みよい町へ

平成 25 年度

## 一般会計予算 62 億 6,000 万円



平成 25 年度 特別会計予算			
特別会計予算名	予算額	前年との比較	備考
国民健康保険	26億8,171万9千円	1億5,518万6千円	前期高齢者交付金の増加等
学校給食費	8,420万0千円	▲270万0千円	児童・生徒数の減少
下水道事業	4億8,300万0千円	▲2億1,500万0千円	建設事業費の減少等
介護保険	14億4,300万0千円	9,800万0千円	介護サービス給付費の増加等
後期高齢者医療	1億5,812万2千円	11万7千円	後期高齢者医療広域連合納付金の増加等
合計	48億5,004万1千円	3,560万3千円	



## 平成25年度 水道事業会計予算

	予算額	前年との比較	備 考
収益的収入	4億7,366万0千円	▲1,365万3千円	給水収益の減少等
収益的支出	5億2,478万5千円	702万2千円	総係費の増加等
資本的収入	6,690万4千円	▲130万0千円	負担金の減少等
資本的支出	1億6,361万3千円	▲347万2千円	施設整備費の減少等

## 平成25年 3月定例会議案審議結果

3月の議会定例会が2月27日から3月13日までの会期15日間で行われました。この議会では、平成25年度一般会計予算など43議案が審議され、全て原案可決されました。また、一般質問には7人が登壇し、活発な議論が展開されました。主な内容は次のとおりです。

議案番号	議 案 名 議 案 内 容	採決結果
議案第2号	川島町課設置条例の一部を改正する条例を定めることについて 子育て支援対策の充実と町民の健康増進を効率的に進めるため新たに「子育て支援課」を設置するものです。	全員賛成 原案可決
議案第3号	川島町男女共同参画によるまちづくり条例を定めることについて 男女共同参画社会の実現に向け、新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第4号	川島町防災会議条例及び川島町災害対策本部条例の一部を改正する条例を定めることについて 災害対策基本法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第5号	川島町水防団条例の一部を改正する条例を定めることについて 川島町水防団の団員の定員を増員し、水防団組織の強化を図るものです。	全員賛成 原案可決
議案第6号	川島町水防協議会条例の一部を改正する条例を定めることについて 川島町水防協議会の委員の人数を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第7号	川島町新型インフルエンザ等対策本部条例を定めることについて 新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行されることに伴い、新型インフルエンザ等緊急事態に備え、新たに条例を定めるものです。	賛成多数 原案可決
議案第8号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 地域社会共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律が施行されることに伴い、条例を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第9号	非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償等の支給に関する条例及び川島町幼稚園設置に関する条例を廃止する条例の一部を改正する条例を定めることについて 新たに川島町男女共同参画推進委員会委員、川島町環境保全審議会委員を設置すること等に伴い、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第10号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 証人等の実費弁償の支給の適用範囲に関する規定を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第11号	川島町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 労働基準法を踏まえた勤務1時間当たりの給与額の算出方法等、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第12号	川島町若者の定住促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例を定めることについて 若者の定住促進を図るための緊急対策として、新築住宅又は中古住宅の取得に係る固定資産税の課税を免除するため、条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第13号	川島町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 「障害者自立支援法」の名称が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改められるものです。	賛成多数 原案可決
議案第14号	川島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 所定の場所に搬出された資源物の所有権は町に帰属するものとし、新たに一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を整備するものです。	全員賛成 原案可決
議案第15号	川島町産業廃棄物処理施設の設置等に係る周辺環境の保全に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 産業廃棄物の処理施設の設置等に関する基準や条例の遵守事項を明確化し、事業者と周辺住民の紛争予防を図るため、条例の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第16号	川島町環境保全条例を定めることについて 町の環境行政を計画的かつ総合的に推進し、将来にわたって良好な環境を確保するため、新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第17号	川島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例を定めることについて 指定地域密着型サービスの事業に係る介護保険法の規定に基づき人員、設備及び運営基準、基本方針等について、新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決

議案番号	議案名 議案内容	採決結果
議案第18号	川島町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めることについて 指定地域密着型介護予防サービスの事業に係る介護保険法の規定に基づき人員、設備及び運営基準、支援方法等について、新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第19号	川島町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例を定めることについて 介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第20号	川島町が管理する町道の構造等の基準を定める条例を定めることについて 町道を新設または改築する場合の技術的基準について、新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第21号	川島町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例を定めることについて 準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準について新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第22号	川島町都市公園条例の一部を改正する条例を定めることについて 公園管理に必要とされる管理基準の一部を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第23号	川島町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例を定めることについて 特定公園の施設における、高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく基準について新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第24号	川島町下水道条例の一部を改正する条例を定めることについて 公共下水道施設に関する構造基準を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第25号	川島町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例を定めることについて 水道の新設工事における技術上の監督業務の基準、及び技術工事監督者に必要な資格基準等について新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第26号	比企広域市町村圏組合の規約変更について 「障害者自立支援法」の名称が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改められたことに伴い規約を変更するものです。	全員賛成 原案可決
議案第27号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について 3月31日をもって埼玉県市町村総合事務組合から久喜地区消防組合、埼玉西部広域事務組合、加須鴻巣学校給食センター組合を脱退させるものです。	全員賛成 原案可決
議案第28号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について 4月1日から、埼玉県市町村総合事務組合に埼玉西部消防組合及び埼玉東部消防組合を加入させるものです。	全員賛成 原案可決
議案第29号	平成25年度川島町一般会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ62億6,000万円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第30号	平成25年度川島町国民健康保険特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ26億8,171万9千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第31号	平成25年度川島町学校給食費特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ8,420万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第32号	平成25年度川島町下水道事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億8,300万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第33号	平成25年度川島町介護保険特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ14億4,300万円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第34号	平成25年度川島町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億5,812万2千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第35号	平成25年度川島町水道事業会計予算 収益的収入を4億7,366万円、収益的支出を5億2,478万5千円とし、資本的収入を6,690万4千円、資本的支出を1億6,361万3千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第36号	公平委員会委員の選任について 公平委員会委員に猪鼻久子氏を再任するものです。	全員賛成 原案同意
議案第37号	公平委員会委員の選任について 公平委員会委員に秋葉進氏を再任するものです。	全員賛成 原案同意
議案第38号	平成24年度川島町一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出それぞれ9,225万8千円追加し、総額を66億5,892万6千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第39号	平成24年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ3,118万4千円減額し、総額を25億8,110万6千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第40号	平成24年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ7,391万円減額し、総額を6億2,695万5千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第41号	平成24年度川島町介護保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ2,088万7千円追加し、総額を14億908万9千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第42号	平成24年度川島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ384万9千円減額し、総額を1億5,415万6千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第43号	平成24年度川島町水道事業会計補正予算（第3号） 収益的収入及び支出の予定額を356万9千円減額し5億1,896万5千円とし、資本的収入を1,131万4千円減額し5,689万円とし、資本的支出を625万1千円減額し、1億4,501万9千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第4号	川島町議会委員会条例の一部を改正する条例を定めることについて 文教厚生常任委員会の所管に子育て支援に関する事項を追加するものです。	全員賛成 原案可決

# 若者の定住促進に係る 固定資産税の課税減免へ

●川島町若者の定住促進に係る固定資産税免除に関する条例を定めることについて

問 この条例を適用した場合、何件くらいの予定か。

答 12月から1月の調べでは概ね30件です。

●川島町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例を定めることについて

問 現在設けられている施設でも移動に不便なところは直せるのか。

答 当然対応させていただきます。

●川島町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例を定めることについて

問 必要な経験年数の証明書があれば良いのか。

答 必要な経験年数があれば資格を有している者ということですが。

●平成25年度川島町一般会計予算  
軽自動車税の内訳は。

問 町で発行しているナンバーの課税分は547万1千円になります。

問 有料広告掲載料の内容は。

答 広報が146万2500円、ホームページでのバナー広告が1件あたり1カ月5千円で、合計78万円見積もっています。

問 滞納処分費の内容は。

答 競売における鑑定費用など26万5千円を歳入に計上しています。

問 地域公共交通の試行の考えは。

答 秋から半年間予定しており、補助対象が2カ月、4カ月が単独費で1500万円程度を見込んでいます。

問 バス停に300万円の補助内容は。

答 3路線ありますが100万円程度3箇所の上屋を設置するものです。

問 自主防災組織立上げ後、自警団の補助はどうなるのか。

答 自主防災組織の中に統合していくのが良いと考えています。

問 公会計制度における財務4表の広報への掲載はいつごろか。

答 23年度分は24年度分と連結し対比できるように秋の決算時に載せるのがいいかと思っています。

問 遠山記念館アクセス道路整備事業について伺いたい。

答 圏央道側道から中学校前の十字路を右へ曲がり記念館までの道路改良を計画しています。

●平成25年度川島町水道事業会計予算について

問 収益的支出が収益的収入を上まわっていますか、料金改定について伺いたい。

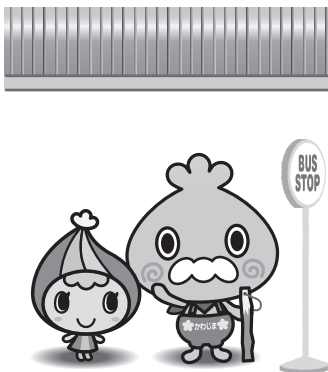
答 来年度水道審議会を開催し、料金改定に取組みたいと考えています。



遠山記念館アクセス道路



上屋の設置がすすむバス停





# 伝統芸能保存事業に補助金を

●川島町新型インフルエンザ等対策本部条例を定めることについて

問 本部長は町長だが副本部長、本部長、職員は。

答 副本部長は副町長、本部長は各課長、職員は関係機関の職員です。

問 インフルエンザのワクチンが足りない時の町の確保のルートは。

答 住民に対するワクチンの確保は、関係機関を含めてしっかりとやっていかななくてはならないと考えています。

●平成25年度川島町一般会計予算

問 町民会館の入場料、催し物のあり方の考えは。

答 テレビ埼玉でPRなどを行い、入場率の改善を図ります。

問 合併浄化槽の整備状況は。

答 県の補助金は更新のみで、浄化槽の設置率は90・2%です。

問 体育施設利用者の人数の減少は。

答 グラウンドゴルフなどの競技人口は増え、比較的昔から盛んな競技人口は減っています。特に40歳代以下の参加率が減っています。

問 住民基本台帳カードは、今現在何名持っている人がいるか。

答 有効発行枚数が423枚です。

問 新しく設けた伝統芸能保存事業補助金制度は。

答 伝統芸能の獅子舞、囃子、神楽、接待餅付踊りなどの団体の用具の修理や管理、技術的な指導などに上限を設け、2分の1の補助を行います。

●平成25年度川島町国民健康保険特別会計予算

問 保険税が高いのではないか。

答 高齢化や、不況による所得の低減などにより保険税収が下がっているため、今後健康診断、特定健診などをすすめ、早期発見、早期治療により医療費の縮減につなげます。

●平成25年度川島町学校給食費特別会計予算

問 消費税が上がった場合、給食費を値上げするのか。

答 今回のところ検討しておりません。

問 夏休みが来年度から一週間短縮され給食の回数が増えるが、8月分の給食費の徴収はどう対応するか。

答 8月分は9月分と合わせて一ヵ月分として9月に徴収します。給食費を上げずに同じ献立ができるように考えていきます。

問 学校給食費の未納者は。

答 平成23年度までの未納者はいません。今年度3月分がありますが、未納金が出ないよう努めています。

●平成25年度川島町介護保険特別会計予算

問 要介護・要支援者が増えているが対策は。

答 介護予防としてハッピー体操を町内9箇所を実施し介護予防対策をすすめてまいります。



伊草の獅子舞



ハッピー体操

# 町の考えを問う

## 町政一般質問要旨

3月12日、13日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p><b>飯野 徹也 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の人口減少と児童数減少・小学校の統合について</li> <li>・「人・農地プラン」について</li> </ul>	<p><b>栗岩 輝治 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設について</li> <li>・国民健康保険税の引下げについて</li> <li>・生活困窮者対策について</li> </ul>	<p><b>道祖土 証 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当町の特別支援教育について</li> <li>・児童生徒の登下校時の安全対策について</li> </ul>	<p><b>新井 悦子 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニでの証明書等の交付について</li> <li>・福祉施策について</li> <li>・給食のアレルギー対策について</li> </ul>	<p><b>石川 征郎 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策について</li> <li>・インフラ整備について</li> </ul>	<p><b>菊地 敏昭 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代育成支援行動計画後期計画について</li> <li>・埼玉版ウーマノミクスについて</li> <li>・社会インフラの老朽化について</li> </ul>	<p><b>佐藤 芳男 議員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援充実方針について</li> <li>・職員給与の見直しについて</li> </ul>
---	---	--	---	--	---	--

**問** 平成12年、2万3732人あった町の人口は本年2月には20000人減少し2万1732人となっている。また児童数の減少は著しく、平成12年の1489人から402人減少し昨年5月1日で1087人となっている。特に中山・伊草小以外の4校では学年の児童数が10人未満や男女比の著しい偏りなど大きな問題となっている。町の第5次総合振興計画の人口減少対策の達成の見込み、2年間の施策の実績と検証。調整区域の住宅開発の見通しは。また、減少する児童数に対応した小学校の統合に対する考えは。

**問** 小学校の統合の考えは

**答** 教育委員会としての方向性を早急に出したい

飯野 徹也



児童数減少が進む町内の小学校

**答** 現在の減少率で推移すると目標達成は困難だと考えるが、各プロジェクトの進行管理を行い、根気強く各事業を実施していきます。調整区域の開発は、引き続き県との協議を重ね実現に向けて進めていきます。小学校の統合については、複式学級への対応も目前に迫っている中で、できるだけ早く教育委員会としての方向性を出すべきであると考えます。

**問** 昨年4月農水省は「人・農地」プランの推進を始めた。この新規施策の概要と、町の取組みは。

**答** この施策は各集落・地域で話し合い地域の未来の設計図を作り、そのプランを市町村が審査決定します。プランに位置づけられると、新規就農者への支援、農地集積への支援が受けられます。県及び関係団体等と連携しプラン作成を進めていきます。



新庁舎建設予定のコミセン周辺



問 答

新庁舎の面積に  
コミセン等の施設の共用は  
基本設計の段階で検討します

栗 岩 輝 治

**問** 新庁舎建設はプロポーザル委員会  
で審議されるが、審査基準書と委  
員会の公開の予定は。

**答** 審査基準書は準備しています。  
5月12日の公開ヒアリングで、設計  
事業者を決定します。

**問** 新庁舎の面積はコミセン等の共  
用施設を含む面積で設計すべきでは  
ないか。

**答** 設計事業者が決まり基本設計の  
段階で検討してまいります。

**問** 負担軽減と、当町の保険税は、  
埼玉県での位置にあるか。

**答** 所得200万円の世帯の場合で  
国民健康保険税は約年32・9万円、  
県内で8番目になります。平成24年  
度の低所得者の軽減は、4割軽減、  
6割軽減合わせて1012世帯、約  
4000万円軽減しています。

**問** 町からの法定外繰入額の増額は、  
今年度の法定外繰入額は660  
0万円を計上しています。また、療  
養諸費の軽減施策として、特定健診  
の受診率の向上を図り療養諸費の抑  
制を図っていきます。

**問** 当町における生活保護世帯数は、  
また、児童生徒に対する就学援助金  
制度は、生活保護基準比何倍か。

**答** 生活保護世帯数は、平成21年度  
33世帯46名、平成25年度54世帯80名  
となっています。就学援助金制度は、  
生活保護基準比1・2倍となっています。

**問** 県の報告書では「全ての学校で  
特別支援教育を推進する必要がある  
」としています。町の考えは。

**答** 平成24年度に全ての小中学校で  
特別支援教室が整備され特別支援教  
室で学習指導ができるようになりま  
した。さらに特別教育支援員を各学  
校に配置できるようにして、地域で  
学び、地域で育てることが出来る特  
別支援教育の推進に努めます。

**問** 県では平成22年度現在で発達障  
がいの児童生徒が小中学校の通常学  
級に10・5%在籍中ですが、当町の  
状況は。

**答** 今年度、障がい児就学支援委員

特別支援教育支援員  
の増員を

今年度2名増員を  
考えています



問

答

道 祖 土 証

**問** 100名の児童生徒の中で通常教室  
で学習を予定している人数は。

**答** 平成25年度に特別支援学校や町  
内の小中学校特別支援教室で学ぶ児  
童生徒数は25人で、75名は通常教室  
で学習する事になっています。

**問** 当町の特別支援教育支援員の増  
員の考えは。

**答** 平成25年度は2名を増員し、幼  
稚園2名を含め16名の特別支援教育  
支援員を配置し、きめ細やかな指導  
支援が行えるよう考えています。

**問** 児童生徒の減少や核家族化が進  
む中、当町の登下校時の安全対策は、  
関係機関に働きかけ、安全対策の向上  
と一人一人が自分の命を守る力をつ  
けるように交通安全教育を行っています。



安全対策の向上を





問 コンビニでの証明書交付は

答 調査研究していきます

新井悦子

**問** コンビニ交付サービスは自治体が発行する住基カードを利用して住民票や印鑑証明書等取得することができるが、町の考えを伺います。

**答** コンビニ交付サービスは、マイナンバー制度やクラウド化と合わせて調査研究していきます。

**問** 障がい者優先調達推進法が4月よりスタートします。町では障がい者の方への仕事の発注があるか伺います。

**答** 社会福祉法人ウイングに平成の

森公園とかわじま公園内の清掃業務を委託しています。

**問** 在宅障がい者の方への仕事の発注は。

**答** 現在はありませんが今後検討していきます。

**問** 新庁舎建設に向けて障がい者雇用を促進する考えは。

**答** 売店等設置スペース確保に協議していきたいが確定していません。

**問** ピロリ菌検査を特定健診や胃がん検診に導入できないか伺います。

**答** 死亡率減少結果の根拠が不十分のため、任意型検診になります。

**問** 発達障がいの子どもの早期発見療育のため5歳児検診ができないか。

**答** スタッフの確保が難しいので今後検討していきます。

**問** 給食アレルギー対策は。

**答** 各学校長をはじめ担任、養護教諭、栄養教諭、学校医等で指導体制を整備し、保護者、主治医と連携を図り状況に応じた対応に努めていきます。



コンビニ交付サービス

**問** 空き家対策と、その現状について伺います。

**答** 空き家の物件数は農業委員を通じて56軒を確認しています。空き家バンク制度の貸付、売買、の形の中で所有者と交渉を進めていきます。

**問** 定住促進を目的とした農地法3条の限定緩和について伺います。

**答** 人口の減少に対する歯止め、定住の促進につながる家庭菜園を可能とした農地付き空き家を取得できる形の中で下限面積を限定した緩和のための協議を農業委員会に見直し依頼をまいります。

**問** 市街化区域内の排水路と道路等

問 空き家対策に  
農地法第3条の緩和を  
下限面積を下げて  
限定緩和に見直しを

お 征 郎  
か 川 征 郎  
い し 石



整備が待たれる中伊川と道路

**答** インフラの整備について伺います。整備が完了した道路、排水路と、そうでない所があることは承知しております。今後は、通学路や交通量の多い道路等を優先して計画的に整備を進めてまいります。

**問** 中伊川の水路の整備とその側道の改良整備について伺います。

**答** 中伊川につきましては町の基幹的水路として重要な水路であると認識しており、自然に配慮した工事方法をもって整備してまいります。脇の道路は2間道路で、非常に狭い道路です。建物と水路のある関係で幅ができていないのが現状です。今後においては、待避所の設置、水路の整備をして、道路幅を確保する方法で整備していきます。



問

子育て支援対策は

答

子育て支援課を新設します

菊地敏昭

**問** 次世代育成支援行動計画後期計画「平成22年3月策定」について、子育て支援サービスの一環である保育園、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点事業等の現状と進捗状況について伺います。

**答** 後期計画平成26年度目標事業に対し、通常保育・学童保育・延長保育事業は概ね達成しております。地域子育て支援拠点は、1箇所実施しており、他に1箇所既存施設を活用し、児童館の設置とともに推進し、



川島町次世代育成支援行動計画

仕事と子育ての環境充実を図ります。

**問** 乳幼児期から青少年の子育て支援に對しての組織の改編は。

**答** 4月から新たに子育て支援課を設置し、さらなる充実に努めます。

**問** 事故の危険性が高い通学路においては、安心して通行できる歩道整備計画を計画的に進めるとあります。が、今後の見通しを伺います。

**答** 集落内の道路は、グリーン線路面標示、側溝の整備等により歩行者の安全確保を図っていきます。

**問** 社会インフラの老朽化について町の計画を伺います。

**答** 今年末に橋梁の長寿命化修繕計画が策定できますので、計画をもとに順次修繕を実施します。また、上下水道関連で国が創設した平成20年度に下水道長寿命化支援制度を活用し管渠の修繕・更新を計画します。非構造物材の耐震化計画は、災害時避難場所に指定の小・中学校体育館より国の防災対策学校施設改善交付金を活用し早急に実施します。

人口減少・少子化の問題は、国力・経済の衰退だけでなく、年金・医療・福祉等将来の不安から様々な問題を引き起こしています。川島町は定住促進プロジェクトの一環として、子育て支援の充実を推進しています。今議会に上程された議案も含め、方針を伺います。

**問** 既に実施している子育て医療費の無償化・保育園の延長保育などを含め、子育て支援課を新たに設置し更なる子育て環境の整備・充実を図ります。

**問** 保育所待機児童の問題は行政に對して異議申し立て等の社会問題となつていきます。幸い川島町に待機児童はなく、近隣都市部からの子育て世代のUターンが期待できますが、保育園ではどの様に把握しているか。

**答** 町立保育園2園の入園予定者185名のうち、実家のある方の転入いわゆるUターンが約30名、他市町村からのIターンが約40名、と推測しています。

問 子育て支援充実の方針は

答 子育て環境の整備充実を図ります

お 男 芳 藤 佐



「子育て支援課」を新設

**問** 役場職員の人件費は、人数、給与水準ともに、長年の努力により適正化が進んでいます。国から一層の努力が求められているが、給与の見直しについて伺います。

**答** 平成17年から給与構造改革を実施して、12%以上の減額を達成しました。国からの要請は市町村総合事務組合の条例、埼玉県人事委員会勧告に準拠し実施してまいります。

# 町民と共に 100号

「議会だより」は、昭和63年の創刊から今号で100号を迎えました。これは25年間にわたる議会の諸先輩方の努力の賜物であります。また、「議会だより」は、町民の皆様と議会をつなぐ架け橋でもあります。25年間の町と「議会だより」の歩みを振り返ります。

議会だより100号  
記念によせて



川島町長  
高田 康男

「川島町議会だより」が創刊第100号を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。

議会だよりは、議会の活動を広く町民の皆様にお伝えするとともに、町民と議会を結

ぶ貴重な役割を果たしており、まちづくりを進めるうえでも大きく寄与していると思いません。

また、創刊以来、これまで編集に関わりました歴代の議会報編集委員の皆様をはじめ、議員各位のご努力に対し、心から敬意を表する次第であります。

この度の100号を機に開かれた議会の象徴として益々充実され、「川島町議会だより」が町民に愛される機関紙となるようご祈念いたします。

議会だより100号を祝して



議会報編集委員長  
石川 征郎

7月号までは、飯野幽碩先生の題字「川島町議会だより」でありました。第78号からは、新たな題字をもった表紙となっております。

議会だよりの使命は、議会の情報をお愛読いただいております皆様方に、正確にお届けをし、議会をより身近に感じていただき、一層の関心と理解を深めて頂くことです。今後も貴重な御指導を賜りながら、創刊の意義と歴史の重さを礎として研鑽を重ねて参ります。

議会だより第100号記念発行にあたり、心より感謝申し上げます。併せて歴代の編集委員の皆様方の御苦労と、諸先輩議員の方々の御尽力に深く敬意を表するところであります。

昭和63年創刊以来、平成19年



## 創刊号から40号まで



<b>平成4年（第16号）</b>	
一般会計予算	69億8,370万円
人口	23,057人
世帯数	5,918世帯
議員定数	22人



<b>平成2年（第9号）</b>	
一般会計予算	50億3,800万円
人口	22,060人
世帯数	5,486世帯
議員定数	22人



<b>昭和63年（第1号）</b>	
一般会計予算	39億7,000万円
人口	20,847人
世帯数	5,033世帯
議員定数	22人

平成4年 11月

- 生涯学習推進のまちを宣言
- 町制施行20周年、水道給水開始30周年記念式典を開催
- 学校給食センターが完成（建替）
- 川島町教育史（戦後編）を刊行
- 圏央道インターシティプランを策定



やすらぎの郷



カントリーエレベーター

平成3年 3月

- 老人福祉センターに「アイサービスセンター」を併設した県内初の施設「やすらぎの郷」がオープン

平成2年 7月

- 防災行政無線放送開始

平成元年 5月

- 公共下水道が一部使用開始

昭和63年 3月

- 関東一の規模のJAカントリーエレベーターが竣工
- 第3次川島町総合振興計画を策定

### 第1号発行時（昭和63年）からの川島町の主なできごと

# 議会だより100号までの



平成10年（第40号）	
一般会計予算	66億7,000万円
人口	23,709人
世帯数	6,681世帯
議員定数	22人



平成8年（第32号）	
一般会計予算	66億2,400万円
人口	23,664人
世帯数	6,443世帯
議員定数	22人



平成6年（第24号）	
一般会計予算	72億1,000万円
人口	23,568人
世帯数	6,269世帯
議員定数	22人

平成11年 平成10年 平成9年 平成8年 平成6年 平成5年

10月 4月 11月 4月 4月 4月



川島中学校



環境センター



平成の森公園



西中学校

- 川島町立西中学校が落成（2校目の中学校）
- 川島排水機場ポンプ増設
- 中学生海外派遣事業がスタート
- 川島町立川島中学校新校舎が落成（建替）
- 平成の森公園がオープン
- 町制施行25周年、水道給水開始35周年記念式典開催
- 環境センター（し尿処理施設）が完成
- 圏央道鶴ヶ島I.Cから川島I.Cまでの工事着工に伴う起工式





# 議会だより100号までの



## 平成24年（第96号）

一般会計予算	61億4,600万円
人口	21,847人
世帯数	7,640世帯
議員定数	14人



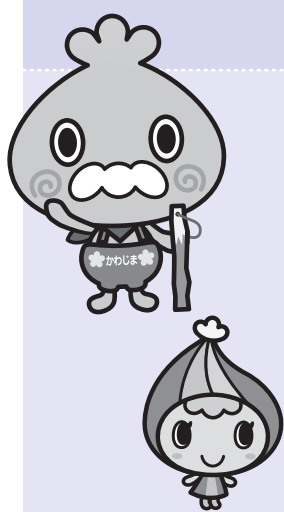
## 平成22年（第88号）

一般会計予算	61億6,800万円
人口	22,147人
世帯数	7,112世帯
議員定数	16人



## 平成20年（第80号）

一般会計予算	62億9,700万円
人口	22,748人
世帯数	7,507世帯
議員定数	16人



マスコットキャラクターの「かわべえ」と「かわみん」が登場

● マスコットキャラクター「かわみん」が登場

● 生涯学習推進のまち宣言20周年記念式典開催

● 町制施行40周年、水道給水開始50周年

● 小中学校の全普通教室にエアコン設置

● 第5次川島町総合振興計画を策定

● マスコットキャラクター「かわべえ」が登場

● が優勝

● 第6回埼玉B級ご当地グルメ王大会で「すったて」

● 受水開始

● 平沼浄水場の配水池（3000t）が完成し県水を

● 川島インター産業団地まちびらき



平沼配水池



B級グルメ「すったて」

● 2008開催

● 平成20年 3月 圏央道川島・C開通、圏央道ウォークフェスタ

# 比企広域組合議会

小高 春雄  
佐藤 芳男

定例会は、2月20日の会期1日で開かれました。

主な議案を報告いたします。

東秩父村の村長に当選された、足立利助氏が副管理者として紹介されました。

欠員の厚生常任委員会副委員長にときがわ町の野原兼男議員を任命しました。

・24年度予算を補正しました

比企広域市町村圏組合一般会計は24年度決算確定で総額8637万7千円となりました。

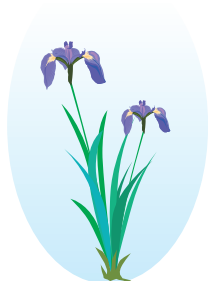
比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計は総額8595万5千円となりました。

・25年度予算を承認しました

比企広域市町村圏組合一般会計は総額8000万円に決定しました。

比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゆう自動車事業特別会計予算は総額1億1600円に決定しました。

比企広域市町村圏組合介護認定及び障害程度区分審査会特別会計予算は総額8200万円に決定しました。



## 議会日誌

2月

27日～

3月定例会

3月13日

3月

13日

議会全員協議会

〃

議会報編集委員会

15日

川島中・西中卒業式

22日

各小学校卒業式

4月

4日

議会報編集委員会

8日

川島中・西中入学式

〃

各小学校入学式

16日

議会報編集委員会

5月

8日

議会運営委員会

〃

議会全員協議会

〃

議会報編集委員会

13日

5月臨時会

〃

議会全員協議会

## 表紙解説

5月5日、ちびっこフェスティバルが平成の森公園で開催されました。

中央の「修景池」では、船乗り体験を261人のこども達が経験しました。

池の周囲は、「金魚すくい」「魚つかみどり」「投網体験」などのイベントも開催され、大賑わいの一日でした。午前9時からは、町民体育館で、開会式が行われ、社会福祉事業への功労者4名、まごころ福祉表彰者6名の方々が表彰されました。

かわじま春まつりは5月26日まで開催されました。

(写真・文章/栗岩)

## 編集後記

100号記念特別号をお届けいたします。

議会報発刊から四半世紀が過ぎ、国と地方の役割分担の見直しが進み、行政・議会共に変化を求められています。分権により地方の責任が重くなり、行政・議会共に情報公開・広報が重要となっています。

議会報は議会活動をご理解頂く大事な広報手段です。

議員による素人の編集をお届けしていますが、読んで頂ける広報誌を目標に努力をしております。

これからも、住民の皆様のご意見を伺いながら皆様とご一緒に、より一層の改善をしております。ご意見・ご要望をお待ちいたします。

(佐藤)

## 議会だより編集委員会

委員長	尾崎 宗良
副委員長	土屋 祥吉
委員	森田 敏男
〃	爲水 順二
〃	栗岩 輝治
〃	新井 悦子
相談役	菊地 敏昭